

都市計画の案の理由書

本地区は、初期琉球王国の歴史・文化を理解する上で重要なグスク（城）として、国の史跡に指定されている浦添グスクの麓に位置する浦添グスク周辺エリアの一部であり、本市のシンボルロード（浦添都市軸）の一端を担う県道浦添西原線沿線地区（景観地区）を含む地区であります。

また、本地区は、第五次浦添市総合計画や浦添市都市計画マスタープランなどにおいて「ウラオソイ文化・交流ゾーン」、「歴史文化拠点」並びに「沖縄都市モノレール沿線地区」として位置付けられており、その風格ある歴史・文化環境の維持・向上を図る上でも重要な地区であります。

当該地区は、浦添前田駅周辺土地区画整理事業の進捗、沖縄都市モノレールの全線開通及び県道浦添西原線拡幅整備などにより、地区内の建築物の建替えなどによって周辺を取り巻く環境が急速に変化しているところであります。また、当該地区は国指定史跡浦添グスクや浦添大公園南エントランスに近接していることから、浦添前田駅は首里城と浦添グスクを結ぶ観光拠点であり、景観、眺望、環境などに配慮する区域として市街地の良好な景観を形成するよう誘導が求められます。

こうしたことから、本市シンボルロードの一端を担う地区にふさわしく、浦添グスクの世界遺産追加登録を目指したバッファゾーンとして周辺の歴史・文化環境との調和に配慮した質の高い市街地の形成を図るため、景観地区を指定するものです。